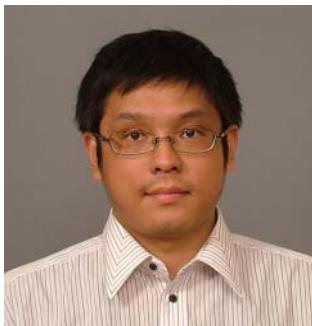


第4号

発行部数 1,500部

# 技短同窓会会報

熊本県立技術短期大学校  
同窓会会報  
編集・発行 同窓会会长・理事



熊本県立技術短期大学校  
同窓会会长 野田 泰  
第四期卒業 産業機械科

残暑の厳しさが少し和らいできた今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。消費税増税、2020年東京オリンピック、福島原子力発電所問題等様々な話題がありますが、皆さんの周りでも、これらの話題にまつわる変化を感じられることがありますか？

今回お話ししたいのが、「開き直る」という能力についてです。その為にまず「やろう」という気持ちについて説明します。食事をするにも、睡眠をするのも、この「やろう」という気持ちから行動は始まっています。例を挙げますと、特別なケースを除いて、食事をすることがつらい方はいないと思います。そういう状況であれば、ストレスを感じることも少なく、自然体に近い精神状態で臨んでいるはずです。仕事の種類は様々ですが、いざ「実施」すると決まった後に「やろう」という気持ちが無い為に、ダラダラと実施を遅らせている人が会社にいると思います。

そういう方の精神状態は不安定になりがちですし、注意力が下がりミスもおきやすいものです。「実施」せざるを得ない状況になった場合は、その仕事について「見事にやり遂げよう」という気持ちを開き直って持つことができると、食事同様、自然体に近い状態で臨むことができ、いい結果・いい方向へ転がっていくはずです。

「開き直り」ということは「ふてぶてしい態度に出る」というような、普段からいい意味として感じることができない言葉ですが、この「開き直り」は非常に重要で、物事に対して見方を変えることができる、仕事には非常に必要な能力です。皆さんは、自分自身の中で熟慮し、考え方を持って生活していると思いますが、この「開き直る」力を磨いて、まったく違う考え方で物事をみてから判断しても遅くはなく、考える判断材料の新たな一つとして自分の中から取り出せることがプラスに働くはずです。これからどのような社会情勢になり、どのような仕事に携わっていくのか我々自身将来のことは見えませんが、我々は「開き直る」力を養って、何事にも積極的な活動を進めて充実した生活を送りたいものです。

## 在校生との交流会開催

2012年12月8日(土)、熊本県立技術短期大学校 在職者セミナー棟で卒業生と在校生との「交流会」を開催致しました。「在校生と卒業生が直接話し、情報交換できる機会を作りたい」と、設立当初からの思いをやっと実現する事ができました。卒業生だからこそ分かる、在学中にやっておけば良かったと思う事、当時欲しかった情報等を中心に話をさせて頂き、在校生からは就職に対する質問を中心に投げかけられ、真摯に答える事が出来たと思います。今年度中に第2回も実施致しますので、協力頂ける方はご連絡ください。宜しくお願ひ致します。フェイスブック等で開催日程等お知らせいたします。技短祭当日も同窓会ブースで協力受付致します。



## 2012年度総会開催

2012年11月4日(日)、在職者セミナー棟にて同窓会「総会」を実施致しました。総会では活動報告として年間の活動報告、会計監査報告、2013年度予算報告が行われ、その後、議決案として4つの議案が報告されました。議案はそれぞれ2012年度活動方針に関する件、Facebook利用の件、交流会継続実施の件、異業種交流推進支援の件が挙げられ、全て全会一致で可決となりました。

学生との交流会実施や、学校側への支援等、これまで活動を行ってきましたが、今後は1人でも多くの卒業生の協力が必要となります。卒業生の皆様にとって、これから新入社員として入ってくる同世代との交流は会社で活かせると思いますし、何より同窓会で繋がる関係は他では作れないものです。ぜひ、同窓会の活動にご参加ください。役員一同お待ちしています。

### 【お知らせ】

2013年度『総会』は11月3日(土)11時～在職者セミナー棟で開催予定です。技短祭同日開催です。ご参加お願い致します。

## 2012年 技短祭への参加

毎年「技短祭」にて同窓会ブースを出展させて頂いています。主に「ものづくり」を来場者に経験してもらう企画を立てており、2012年度は「LEGO」をメインに出展させて頂きました。子どもはもちろん大人の方も、昔一度は触った事のあるブロックに真剣な表情で作品作りに臨まれ、たくさんの作品が生まれました(右写真)。全てバラの状態からの作品であり、説明書等は無く各人がそれぞれに創造性を膨らませて作った作品です。



「ものづくり」の基本はこの「創造性」にあります。「ものづくり」を仕事としている多くの卒業生は、日々より良いものを社会へ提供すべく、試行錯誤を繰り返しています。同窓会としては、「ものづくり」の楽しさや大切さを来場者の皆様や学生に体験し、実感してもらうことを目的とし、今後も技短祭にて、「ものづくり」体験のブースを運営していきたいと思います。卒業生の方も気軽に遊びにきてください。



### △同窓会(各年度/各科)写真、記事募集

皆様それぞれに集まった様子をFacebookへ掲載しませんか?連絡先が取れなくなってしまった方や、参加できなかった人への報告も含めご活用頂ければと思います。

### ◇仕事で役に立った本の紹介

たくさんの本を読まれているかと思います。卒業生が実際に仕事で役に立った本をご紹介頂きたく、募集致します。簡単な感想を含み、Facebookまたは、下記メールアドレスまでご連絡ください。また、以前行いました、学校への図書寄贈を今後行う時の、本選出の参考にしたいと思っています。

### ◇就職支援情報

主に学生や、一般(入学を希望する学生やその親)の方からの問い合わせに対する回答を行っています。会社の内容は教える事のできる内容が制限されますが、職種や学校で何をすべきか?等の質問にはどんどん答えていきたいと思っています。



## 2013年 技短祭企画

今年は少し趣向を変えて、アクセサリー製作をメインにものづくりブースを企画しています。一般参加の方の日常に「ものづくり」を感じて頂く為、今回の企画と致しました。昨年に引き続きLEGO等の子供向けのブースも準備しています。ぜひ、ご家族連れでいらしてください。当日にブースで出す予定のクイズを一つご紹介いたします。正解すると良い事あるかも?

問) 一つの立体模型で、視点を変えると下記、3つの形を見る事ができました。この立体模型はどのような形をしているでしょうか?

回答は図でお願いします!



### 2013年3月 退職者

精密機械技術科 : 今村 格 先生  
機械制御技術科 : 川寄義則 先生  
情報映像技術科 : 石川光貴 先生

### 平成24年度決算・25年度予算

①収入の部 【単位:円】

項目	24年度決算	25年度予算	備考
繰越金	6,187,835	6,810,733	
会費	1,100,000	1,010,000	
諸収入	1,141	0	利息
計	7,288,976	7,820,733	

②支出の部

項目	24年度決算	25年度予算	備考
運営費	159,942	200,000	25年:同窓会名入れ文具含む
技短祭費用	184,111	150,000	
郵送費	134,190	150,000	
計	478,243	500,000	
その他	150,000	150,000	周年事業積立金

③収入一支出

繰越金	6,810,733	7,320,733	25年内)周年積立金30万
-----	-----------	-----------	---------------